



自我作古

令和7年6月30日

瀬田南小学校便り

児童数 750名

<http://www.otsu.ed.jp/setm/>

自我作古：自らの道を自らの力で切り拓き、新しい歴史を作り上げていく

学校教育目標： やさしく、かしこく、たくましく カー杯生きぬく児童の育成 ～南っ子はやかたの子～

梅雨の合い間をぬって、この時期にしかできない水泳学習に取り組んでいます。プールからは、子どもたちの笑顔と楽しそうな声があふれています。6月には、校外での学習や外部の指導者による学習等を行い、教科の学習や日常生活とのつながりを大切に、確かな学びとなるよう努めてきました。

また、音楽会の事前発表として、学習の様子を参観いただける機会を設けました。多くの保護者の皆様に来校いただきありがとうございます。体育館での参観いただいていた保護者の皆さんのマナーに感謝いたします。

さて、学校での7月は1学期のまとめの時期。体調管理に気を付けて、夏休み前の残りの学校生活をしっかりと送らせたいと思います。また、17日（木）には1学期末学級懇談会を予定しています。1学期の学習や学校生活の様子をお伝えし、2学期以降の指導や支援につながるよう、保護者の皆さんと考えていきたいと思っています。

愛は心をノの字で受ける

わたしと同じくらいの年齢の方であれば、通知表を「通信簿」と言っていたかと思います。それぞれの学期の終わりに、子どもたちの学習成果やがんばりとしてお渡しするのが通知表なのですが、「よくできる」「◎」が何個以上ないと…」と一部の子どもたちを困らせたり、苦しめたりしている悪者のような側面もあるようです。

通知表は、その子のほんの一部しか、またあるひとつの時期の子どもたちの様子しかお知らせできていません。たとえ今、たし算に「がんばろう」がついていたとしても、それはその時のその子の状況であって、それがずっと続くものでもないのです。

教育学者の故・坂東義教先生は、「愛」という漢字を分解すると「心」と「ノ」と「受」になることから、愛は受け止めてあげるもので、子どもの言った言葉の語尾に「の」の字をつけて話せば、心を受けてあげられることができるというのです。これが、「愛は心をノで受ける」の理由。例えば、「お母さん、先生にほめられたんだよ」って子どもが言った時、「何を？」と切り返してしまう方がいるかもしれませんが、「あらあ、ほめられたの」って「の」の字をつければいいそうです。満面の笑顔で「ほめてもらったの」と聞いてあげると、子どもはお母さんの喜んでくれる笑顔が見たくて、次もまた頑張るものです。ただ、これは簡単そうにみえてもなかなか難しく、偉そうにこれを書いているわたしも、我が子に対しては「テストで、丸がいっぱいもらえた！」と言ったとき、できてないことのほうが気になって、「この問題は どうして間違えたの？」と聞いていたように思います。その時の子どもの気持ちや期待を考えると…。今だからこそ、笑顔と「の」の字で「心」を受け止めてあげることの大切さを考えさせられます。

たとえば、子どもが、「算数の勉強なんかきらいだよ」というと、「なんで？、どうして？」と、つい反応してしましますが、「そっか、算数の勉強がきらいなの」とまず言い、「きらい」だという「心」を受けてあげると、子どもがいろいろと話しはじめるそうです。そうした話をたくさん聞いてあげた時、「わかってもらえた」「受け入れてもらえた」と子どもは感じるようになるのでしょう。

人は物をもらとうれしいものです。それが自分の好きな食べ物やおみやげ、プレゼント、貴重な品々ならなおさらです。けれど、もっとうれしいのは「心」をもらえたと感じたときなのだと思います。「話を聞いてもらう」「喜んでもらう」「ほめてもらう」「認めてもらう」「わかってもらう」、こうしたときに、きっと「心」をもらえたと感じるのだと思います。「心」をあげることは簡単ようでなかなか難しいのですが、まずは笑顔と「の」の字で「心」を受けるところから始めていければと思っています。

さて、1学期末の通知表を学級懇談会でお渡しします。どうか、「痛心簿」にしないで、温かい目と心で見えてあげてください。子どもと親が心を通わせて見る「通心簿」にしていいただければと願っています。

プライベートゾーンについて学ぶ機会を

水泳学習を前に、全学年でプライベートゾーンについて、学習しました。プライベートゾーン（またはプライベートパーツ）とは、アメリカで発祥した言葉で、「他人に見せても触らせてもいけない、性的に関係ある、自分だけの体の大切な場所」とされています。具体的には、胸、お尻、性器、口。幼児から小学生の子どもに伝えておきたい、大切な性教育の要素です。

ところが「プライベートゾーンは大切」と言われても、子どもにはうまく伝わりません。小さな子どもには、シンプルで分かりやすく伝えることがポイントです。まず場所については、「水着で隠れる場所（胸、おしり、性器）と口」と伝えるとイメージがしやすいです。ただし、就学前の子どもや低学年では、「裸で走り回る」「誰かれなく密着する」「尿や便、性に関する言葉を使って相手の反応を楽しむ」など、性への認識が弱いために予防することができなかったり、被害があってもすぐに相談できなかったりするケースが様々なところで指摘されています。「性的なことはプライベート」「話題にしにくい」などと消極的になったり、「子どもにはよくあること」「悪気があったわけではない」などと問題を軽く見たりせず、その都度、マナーやルールとして指導していくことが大切です。「自分の身体は自分だけの大切なもの」「自分の身体のどこに、誰が、どのように触れることができるかは、自分で決められる」ということ、ご家庭でもプライベートゾーンについて、是非お話していただければと思っています。

【学習に使用した教材】

性犯罪・性暴力対策の強化について：文部科学省（小学校向け）

https://www.mext.go.jp/a_menu/danjo/anzen/index2.html#elementary-low

大人のマナー

「あいさつは相手の目を見てはきはきと」。学校で大切にしている取組です。教職員である大人があいさつをしなければ、あいさつのできる子に育ちません。子どもたちは日々大人の姿を見て（観て・魅て・視て）います。あいさつもひとつのマナー。大人が見せなければと思っています。

そこで、学校におけるマナーとして保護者の皆様にもお願いします。

- ・学校に来校する際は、保護者証を携帯してください。
- ・校舎内での学習参観・懇談、行事等においては、携帯電話の電源を切るか、マナーモード等にし、私語を慎んでください。
- ・学習参観、行事の際に、学校近辺の店舗等への車の駐車は厳禁です。
- ・登下校時の児童の安全、保護者同士、保護者と教員の車両事故の未然防止を優先するために、やむを得ない場合を除き、児童の混雑する朝の時間帯午前 7 時50分から午前8時15分までの間、下校時の児童の迎えるのための車の乗り入れは控えてください。なお、今後、正門からの保護者の車の乗り入れについては、事故防止のため予防策を検討していますので、改めてお知らせします。

最近、子どものマナー以上に大人のマナーが問われているように感じています。新聞、ニュースなどからは、マナー、モラルを疑うような大人の行動が散見されます。私たち大人はたくさんの逃げ道を持ち、口実を作ることができます。子どもはそれを見て（観て・魅て・視て）いるものです。学校だから許されるのではなく、子どもたちが過ごす学校だからこそ責任をもって行動する自覚が必要だと思っています

教員は教育公務員としての自覚を持ち、公共のマナーやモラルについては一段高い意識を持つようにしなければならんと思っています。校長自身も自覚と責任をもって、教員に指導していく所存です。

7 月行事予定

日	曜日	行事予定
1	火	
2	水	
3	木	全校5校時日課 1年生 食育指導
4	金	全校5校時日課
5	土	
6	日	
7	月	全校5校時日課 代表委員会
8	火	5・6年ネットいじめ防止教室
9	水	教育相談日 心臓2次検診
10	木	全校5校時日課
11	金	全校5校時日課
12	土	
13	日	
14	月	全校5校時日課 6年着衣泳
15	火	全校5校時日課
16	水	全校4校時日課 13:00下校 給食終了 6年着衣泳予備日
17	木	短縮4校時日課 11:50下校 学級懇談会
18	金	短縮4校時日課 11:50下校 1学期終業式・大掃除
19	土	
20	日	
21	月	海の日
22	火	夏休み～8/31
23	水	
24	木	
25	金	
26	土	
27	日	
28	月	学費引落日
29	火	
30	水	
31	木	大津っ子未来会議(大津市生涯学習センター)

8 月行事予定

日	曜日	行事予定
1	金	
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	
6	水	
7	木	
8	金	閉校日
9	土	
10	日	
11	月	山の日
12	火	閉校日
13	水	閉校日
14	木	閉校日
15	金	閉校日
16	土	
17	日	
18	月	閉校日
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	学費引落日
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	
31	日	